

学習指導要領	都立大崎高校 学力スタンダード
(1) 自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。 自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。 ア 人間としての自覚 人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。 (2) イ 国際社会に生きる日本人としての自覚 日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。 現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	この科目の導入として位置付け、生徒自身の課題を他者、集団や社会とのかかわりと関連付けて考えさせ、以後の学習への意欲を喚起する。 自らの人生をどう生きればよいか、生きることの意味は何かなど、生きることについて根源的な問いについて、先哲がどのように問い、どのように答えを求めているかを参考にしながら、自らの答えを求めて思索を深めさせる。 人間はどのような位置付けで存在するのか、他者とどうかかわり、社会や自然や人間を超えたものとどうかかわっているのか、どのような人間になり、どう生きればよいのか、生きることの意味をどこに求めればよいかなど、人間をありのままの存在の面からみると同時に価値的な面から思索を深めさせる。 国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について思索を深めさせ、自らの人生観、世界観ないし価値観を確立する基礎を培う。 現代に生きる私たちが直面する重要な倫理的諸課題を考える上で手掛かりとなる倫理的な見方や考え方についての思索を深めさせる。単に知識として学びとらせるのではなく、生徒自身の課題とかかわらせて興味・関心を喚起し、現代に生きる人間としての在り方生き方にかかわる諸課題を主体的に探究させる。 倫理的な見方や考え方を身に付けさせるために、内容の諸事項について学ぶ際、一定の見方や考え方を学びとることにとどまらず、生徒自らが倫理的な見方や考え方を身に付け、自ら課題を受け止め、考えることのできる力を育てる。

学習指導要領	都立大崎高校 学力スタンダード
(3) ア 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。 イ 現代の諸課題と倫理 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	現代の倫理的諸課題の解決を探るために必要な論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。これらの学習を通して、現代の倫理的諸課題について理解を深め、自分自身に固有な選択基準ないし判断基準を形成させ、現代に生きる自己の生き方の確立を促すことを目指して指導を工夫する。